阪航工契第453号

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件　　名　宮津VOR/DME局舎改修工事

開 札 年 月 日　令和8年8月24日　　（落札決定日　令和8年9月30日　）

入 札 執 行 官 署　大阪航空局

落　札　金　額　￥24,321,000 －

落　　札　　者　株式会社浦田建装

予 定 価 格　￥27,423,000 －

積　　算　　額　￥27,423,000 －　　入札書比較価格（予定価格の100/110）　￥24,930,000 －

調 査 基 準 価 格　￥24,961,854 －　　調 査 基 準 価 格 の 100/110　￥22,692,595 －

基 準 評 価 値　401.123

低入札価格調査実施済　第1回目落札

入札参加者	評価点 (満点161.5点)	第１回入札			第２回入札			摘　要
		入札金額	評価値	評価値≧基準評価値	入札金額	評価値	評価値≧基準評価値	
株式会社浦田建装	121.0	22,110,000	547.263	○				落札
株式会社福多電気商会	－	辞退	－	－				

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。
※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。
※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第３位まで表示）。
※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（１円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。
※本件は、予算決算及び会計令86条第1項の規定に基づく調査を実施し、令和8年9月30日に落札者を決定した。

総合評価落札方式評価点内訳（施工能力評価（Ⅱ型）・施工体制確認型・企業能力評価型）

件　名　：　宮津VOR/DME局舎改修工事

入札参加者	標準点	加算点						施工体制評価点			技術評価点
		技術提案	企業の施工能力	配置予定技術者の能力	賃上げ実施の表明	WLB等を推進する企業	計	品質確保の実効性	施工体制確保の確実性	計	
株式会社浦田建装	100	－	16.0	－	0.0	0.0	16.0	5.0	0.0	5.0	121.0
株式会社福多電気商会	100	－	16.0	－	1.0	0.0	17.0	辞退			

低入札価格調査の実施概要（建設工事）

件　　名 ： 宮津VOR/DME局舎改修工事

発 注 機 関 名 ： 大阪航空局

調 査 対 象 業 者 ： 株式会社浦田建装

項　　目	内　　容
(1) その価格により入札した理由	直接工事費については、長年取引実績がある協力業者から見積徴取を行い、立地条件等を加味し、精査した価格にて、入札価格を決定している。 また、共通費については、過去の実績に加え施工場所が山間部であることや自社からは遠隔地であることを考慮した率により算出されていた。 これらの理由により当該価格にて入札したとのことである。
(2) 契約対象工事付近における手持工事の状況	配置を予定している主任技術者は、二級建築士の資格を有している。また、手持ち工事の状況を確認したところ、主任技術者及び現場代理人に現在施工中の手持ち工事は無いことから、技術者の配置は適正であると思料される。
(3) 契約対象工事に関連する手持工事の状況	配置を予定している主任技術者は、二級建築士の資格を有している。また、手持ち工事の状況を確認したところ、主任技術者及び現場代理人に現在施工中の手持ち工事は無いことから、技術者の配置は適正であると思料される。

(4) 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との地理的条件	調査対象者の営業所は工事現場から約100km（所要時間：約100分）の距離に位置しているが、過去にも宮津市内での工事実績があり、緊急時には工事場所近隣に宿泊所を確保する等、現場管理等の対応が適切に取られることをヒアリングにより確認した。
(5) 手持資材の状況	手持資材はなく、必要な資材は、長年取引のある協力業者にて、調達することを確認した。
(6) 資材購入先及び購入先と入札者との関係	資材購入については、長年取引のある協力業者より調達することを確認した。
(7) 手持機械数の状況	本工事で使用する手持ち機材はなく、必要な仮設、機材については、長年取引実績のある協力業者から調達することを確認した。
(8) 労務者の具体的供給見通し	工種ごとに協力業者の労務者を確保し、適切に配置する予定であることを確認した。
(9) 過去に施工した公共工事名及び発注者	過去に施工した公共工事を確認したところ、過去5年間（令和3年4月1日以降に完成・引渡しが完了した工事）において、国発注工事1件、公共法人等の発注工事 11件の施工実績があり、国発注工事の工事成績評定点は 75点、公共法人等発注工事の工事成績評定点の平均は74.0点（工事成績評定点が通知されているもの）であったため、概ね適切な施工が行われているものと思料される。 ただし、そのうち地方公共団体の発注工事1件において、工事成績評定点が65点を下回る実績があったため、発注者へヒアリングをしたところ、工事書類の不備によるもので、施工については完了していることが確認できた。 また、調査基準価格を下回る価格で受注した工事が2件あったが、工事成績評定点は80点及び75点となっており、概ね適切な施工が行われているものと思料される。

(10) 経営内容		調査対象者の経営内容は、直近の財務諸表等の報告書から、健全な経営が行われていると判断する。
(11) (1)から(10)までの事情聴取した結果についての調査検討		以上の調査事項について確認した結果、配置予定技術者及び過去の公共工事の施工状況から施工面について問題があるとは言えないことなどから、契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあるとは認められなかった。
(12) (9)の公共工事の成績状況		過去に施工した公共工事は適切に行われており、工事の品質については問題はないと判断する。
(13) 経営状況		問題なし。
(14) 信用状況	法令違反の有無	無
	賃金不払いの状況	無
	下請代金の支払遅延状況等	無
(15) その他の必要な事項		無